

モノづくりを支える人材を「人財」にする

JIPMの トリセツ

JIPM取扱説明書



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

Contents

発表する・発表を聞く	1
資格を取得する	2～3
からくり改善を見る・学ぶ	4～5
セミナーを受講する	6
計画保全・MOSMSの仕組みをつくる	7
現場発信のDX(デジタル化)に取り組む	8
情報サイト・研究報告書から知る	9
TPM賞を目指す・活動のプレゼンス向上	10
海外工場の人材育成を促進する	11
研究する・企業間交流する	12
会員になる	13

JIPM について

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会は、
生産性や設備管理技術、保全技術・技能の向上に関する課題解決を支援することにより、
産業界における安心、安全、安定の生産活動・保全活動の促進及び
品質の安定・向上に寄与してまいります。

事業

- (1) 生産活動に関する諸課題や情報を調査収集し、課題解決に必要な技術及び技能を研究する事業
- (2) 生産活動を支える人材の育成を支援する事業
- (3) 生産活動に必要な技術・技能の水準を客観的に評価する事業
- (4) 生産活動の課題解決のための支援・助言・指導
- (5) その他本会の目的を達成するために必要な事業

沿革

- 1961年 社団法人 日本能率協会内に「設備管理部会」発足
- 1971年 全員参加のPM(TPM)を提唱
- 1981年 通産大臣より公益法人の許可を得て、社団法人日本プラントメンテナンス協会発足
- 2011年 創立(社団法人化)30周年、TPM提唱40周年
- 2012年 新公益法人制度に基づく認定を受け、「公益社団法人」へ移行
- 2014年 厚生労働大臣の指定を受け「機械保全技能検定」試験の指定試験機関へ(2015年より全国で試験実施)
- 2021年 創立(社団法人化)40周年、TPM提唱50周年

＜お問合せ・お申込み先＞

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

〈本部〉〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-3 神保町SFⅢビル5階

Tel.03-6865-6081 Fax.03-6865-6082 E-mail:fukyu@jipm.or.jp URL:https://www.jipm.or.jp/

〈中部事務所〉〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル21階

Tel.052-561-5634

■ 発表する・発表を聞く

◆ 主な発表会・講演会

① 改善事例発表大会／ 優秀改善事例発表大会

製造現場などで実施した改善活動の成果や進め方を発表し、参加者同士で共有・交流する場です。優秀改善事例発表大会では、改善事例発表大会で優秀な成果を収めた事例が紹介されます。



② TPMレディース大会／ クイーンズ・カンファレンス

女性が中心となって取り組んだ改善活動の成果や、職場での活躍・リーダーシップに関する事例を共有する場です。クイーンズ・カンファレンスでは、女性の活躍や改善活動に関する優れた事例が発表されます。



③ からくり改善くふう展



現場の作業改善に役立つ、からくり装置のアイデアや事例を展示・紹介するイベントです。

重力、てこ、滑車などの原理を活用し、安全性・品質・生産性の向上につなげる工夫を学べます。

※からくり改善についての詳細は4～5ページをご覧ください。

④ 設備管理全国大会

設備管理・保全に関する改善事例や技術を共有し、設備の故障防止、長寿命化、生産性向上、DX技術やAI活用などについて学ぶ大会です。参加者同士の情報交換や交流の場にもなっています。



⑤ モノづくり現場発信のDX大会

現場の課題を起点に、知恵と工夫を活かしてデジタル化・改善した事例を発表する大会です。現場のメンバーが主体となって業務を変革する取組みを共有します。

※現場発信のDXの詳細は8ページをご覧ください。

⑥ これからのモノづくりと 経営者へのメッセージ

これからの製造業に求められる変革や人材育成について考え、現場が抱える課題や、経営者に期待される取組みを伝える内容です。

このほか、各地域で講演会や発表会などを開催しています。

■ 交流会 - 発表だけでは見えない学びがある -

※各大会で発表者・聴講者の交流会を実施しています。

- ・発表では見えない成功の裏側を聞ける
- ・自社の課題を率直に意見交換できる
- ・生の失敗談や苦勞を知ることができる
- ・他社の担当者や現場とつながることができる

その他イベントや詳細に関する情報は
日本プラントメンテナンス協会公式サイトをご覧ください
<https://info-jipm.jp/event/>



発表・聴講・交流を通じて、現場の人材と改善活動を育てます。

■ 資格を取得する

■ 機械保全技能検定

国家検定

「機械保全」とは設備機械の故障や劣化を予防し、機械の正常な運転を維持するうえで重要な保全作業であり、この技能を評価する唯一の「国家検定」です。

毎年3万人
以上が受検！
※直近10年間平均
33,652人/年

No.1

「ものづくり分野」
の技能検定で
受検者数No.1

105万人

受検者累計
100万人を突破！
(1984年～)

■ 資格取得のメリット

01 機械保全技能士として名乗れる

キャリア形成や
モチベーションUP

02 人材育成の可視化

学習目標と到達度を
客観的に確認

03 現場力の向上

故障・劣化を見抜く
技能の習得

04 保全部門の信頼性向上

標準化された評価で
社内外に説明しやすい

■ 試験の概要

各種詳細は下記の公式サイトをご確認ください。

試験方法

学科試験
+
実技試験

等級・作業

特級・1級・2級・3級
1・2級：機械系保全作業、電気系保全作業、
設備診断作業
3級：機械系保全作業、電気系保全作業

試験日程

特級・1級・2級
.....年1回
3級年2回

【専門的な知識を持つ管理・監督者】
管理監督者として専門的な知識を習得を
することで保全分野に関する信頼度はぐ
んと上がります！



特級

必要な実務経験年数：1級合格後5年以上
受検者数：約700人/年
合格率：15～25%

【高度な知識を持つリーダー的役割】
チームの中心あるいはリーダーとして部
下の育成・指導するためにも高度な知識
を習得しよう！



1級

必要な実務経験年数：7年以上
受検者数：約9,000人/年
合格率：25～35%

【基礎的な知識を持つ現場担当者】
まずは現場で求められる最低限の知識を
習得しよう！



2級

必要な実務経験年数：2年以上
受検者数：約13,000人/年
合格率：30～40%

【新入社員や機械保全を学ぶ学生】
就職活動にも活かせる3級は学生のうち
に合格しよう！



3級

必要な実務経験年数：問わない
受検者数：約7,000人/年
合格率：70～80%

■ 各等級受検までのモデルケース

	職場の管理・ 監督者 13年目～	保全の方針を策定・決定できる 未然防止および事象の分析ができる 教育訓練計画の策定、実施、評価が行える	特級
	職場リーダー 8年目～	保全の計画立案および再発防止、未然防止ができる 経験に基づいた専門的な知識を現場で活かせる 部下の育成・指導をするために必要な知識がある	1級
	担当技能者 3年目～	機械保全の基本的な知識を現場で活かせる 異常を発見し、対応の手順と方法がわかる	2級
新入社員・学生 入社前後	教科書的な、機械の基礎的な知識がある		3級

ご質問などは、サイト内のお問い合わせフォームより
お問い合わせください。

機械保全技能検定 日本プラントメンテナンス協会

検索

公式サイト <https://www.kikaihozenshi.jp>



自主保全士®認定制度

40万人

受検者数累計
40万人を突破!
(2001年～)

■自主保全士とは

製造オペレーターが設備の異常を見つけ、正しく処置し、正常状態を維持するための知識・技能を客観的に評価する認定制度です。公益社団法人日本プラントメンテナンス協会が認定します。

4つの能力	5つの知識・技能	級	想定される役割と求められる能力
1. 異常発見能力	1. 生産の基本	1 級	職場チーム（小集団）における中心的、リーダー的な存在となり、自主保全を展開する上での計画・立案と実践指導ができる
2. 処置・回復能力	2. 生産効率化とロス構造	2 級	製造（生産）に関わる部門の一員として、自身の業務に従事しながら、自らが関わる設備や工程・作業について自主保全を実践できる
3. 条件設定能力	3. 設備の日常保全（自主保全活動）		
4. 維持管理能力	4. 改善・解析の知識		
	5. 設備保全の基礎		

■スタイルに合わせて選べる3つの資格取得方法



■新入社員・中途社員向けのモノづくり仕事入門検定

目的	対象	方法
製造業の基礎知識と現場力を身につけるための入門検定	製造業で初めて働く方（新入社員・パート派遣など）	テキストで学習し、オンライン試験で理解度の確認



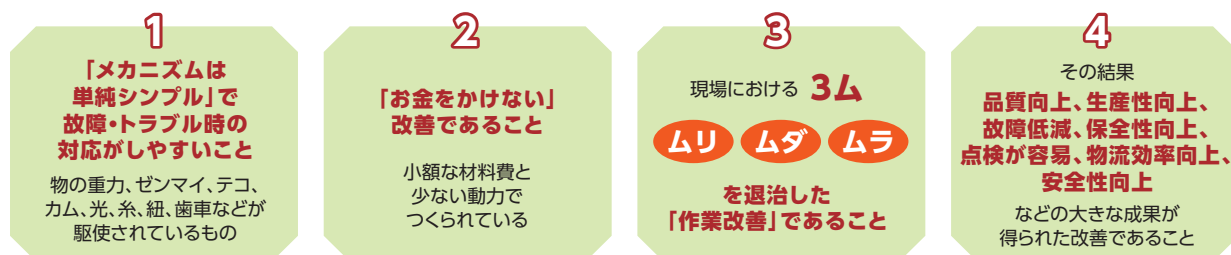
認定制度の詳細や企業のご活用事例は
自主保全士公式サイトをご確認ください。

<https://www.jishuhozenshi.jp>

■ からくり改善®を見る・学ぶ

■ からくり改善とは？

製造現場における困りごとを、自分たちのアイデアで解決する「からくり改善」。「現場オペレーターが知恵を出し」「手づくり」で製作すれば、その結果は「創造性が高く」他の見本となる「楽しい改善」といえます。



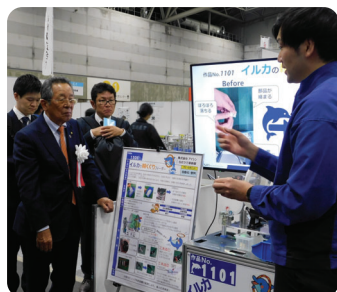
(芝浦工業大学 津村 豊治名誉教授による)

■ からくり改善を見る

■ からくり改善くふう展

からくり改善くふう展は、現場の知恵とくふうが一堂に集まり、見て・触れて・真似ることで学びが広がる現場力の祭典です。

DVD作品集
も販売中!



- 現場の知恵と創意工夫が集まる
日本最大級のからくり改善イベント
- 実際のからくり作品を
見て・触れて・動きを体験できる唯一の場
- 1994年から続く、技能・技術・発想力
を育てる学びの場
- 省エネ・CO₂削減・省力化・安全性向上・多様な
人財活躍など、現代の社会課題に応える改善が
多数展示される
“現場発のソリューション集積地”

■ からくり改善実践講座 (工場見学付)

からくり改善を実践しているからくり改善先進工場を見学します。見学先は、「からくり改善くふう展」にて最優秀からくり改善賞を受賞された工場や「ダイバーシティ×からくり改善」など。ニーズに沿った様々な企画を実施します。



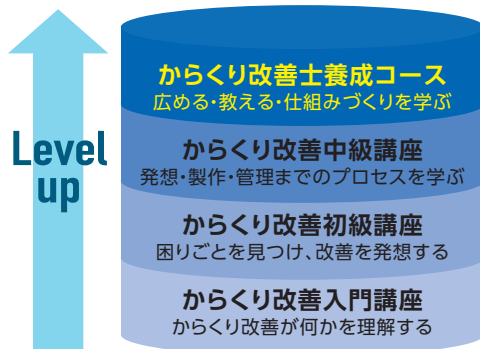
- 現場の「知恵」と「くふう」が詰まったからくり改善活動の取組みや、からくり作品が製造ラインで実際に活用されている様子をご覧いただけます。
- からくり道場の見学やからくり改善の講義の実施など工場見学以外の企画も充実しています。

からくり改善を学ぶ

からくり改善各種セミナー

からくり改善を学ぶ様々なメニューを用意しています。からくり改善入門講座～からくり改善士までの4段階レベルに合わせた階層別のセミナーだけにとどまらず、企業事例と工場見学で学ぶ「からくり改善実践講座」など、多くのバリエーションで学びの場を提供しています。

●からくり改善を階層別に学ぶ



●実例から学ぶ/テーマ別に学ぶ

からくり改善実践講座(工場見学付き)

- ・各社の社内の展開事例や工場・教育施設(道場)などから学ぶ

テーマ別セミナー

- ・生産技術者向け、省エネ対策、TPSとからくり改善など、目的別に開講



からくり改善士認定制度

からくり改善士認定制度は、正しいからくり改善を社内に伝える・教える・広める役割を持つインストラクターを養成・認定する制度です。

からくり改善士の主な役割

社内の改善の
リーダーシップを取る



改善プロセスを正しく理解し、社内への普及のリーダーシップを取れる人材

教育の仕組み
を構築し、指導する

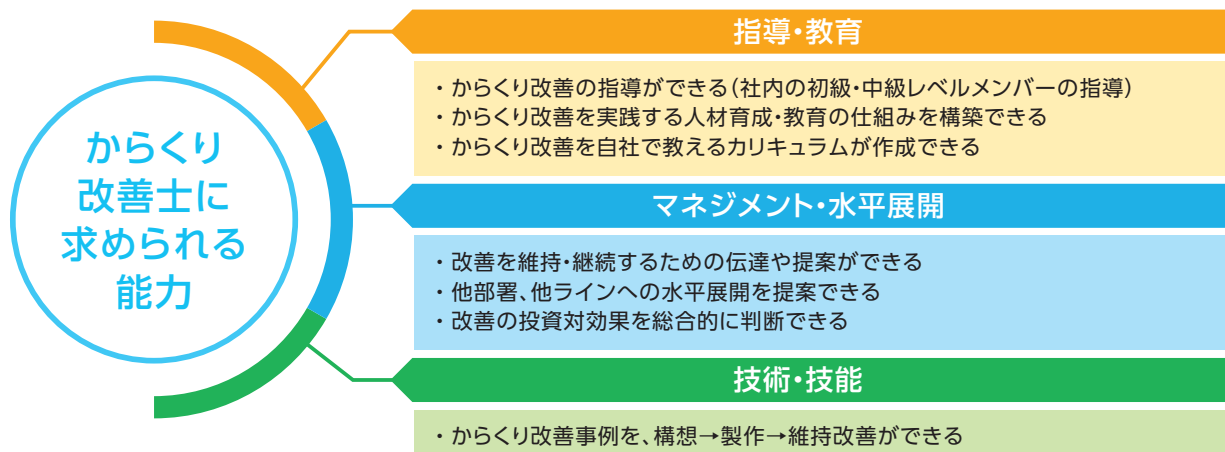


からくり改善の教育プログラムを作成し指導を行なえる人材

定着・持続する
仕組みをつくる



改善を社内に定着させ、効果・成果を持続的に出せるよう、マネジメントできる人材



■ セミナーを受講する (座学、実習、演習)

■ 各種セミナーを実施しております

- **主な内容** 技術マネジメント、基礎技能 (実習・演習含む)、資格試験対策、TPM関連など
※詳しい内容についてはお問い合わせください
- **講師陣** 企業現役・OBの専門技術者、大学教授、専門団体技術者、当会専任講師など

■ 日本プラントメンテナンス協会の階層別セミナー

※下記コースは一例です

	計画保全	設備診断技術	保全技能教育	解析手法	その他	TPM	からくり改善
管理者/技能 スペシャリスト	設備管理士 養成コース					TPM インスト ラクター 養成コース	からくり改善士 養成コース
	計画保全士 養成コース	設備診断技術 セミナー		課題別に適した 故障解析手法 とは何か			からくり改善 中級講座
	メンテナンス フォアマン コース		空気圧技能 講座 (実践編)	実務で活かせる! デザインレビュー	製造現場の課題 解決のための DX 実践講座	TPM 推進の 基本講座	
現場担当者		予知保全と IoT	電気保全 実習講座	すぐに使える FMEA/FTA	ロボット・ メカトロ 基礎講座		からくり改善 初級講座
	故障から学ぶ 設備保全入門		潤滑管理基本 コース		初めての工場 「QCDDって なんだろう?」	意外と知らない!? あなたの職場のロ スってなんだろう?	からくり改善 入門講座
	計画保全 入門講座		空気圧技能 講座 (入門編)				



様々な受講方式の
セミナーをご用意。
(集合・ライブ・オンデマンド)
ご受講しやすいセミナーを
選択いただけます。

■ 講師や専門家を呼ぶ

■ 講師派遣で「気づきの場」をご提供します!

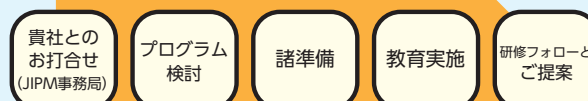
当会の長年培った技術やノウハウを活かして、「講師派遣型教育」により、貴社の人材育成をお手伝いいたします。座学だけではなく**実習・演習**など、頭で考え、手を動かし進める研修や、先進企業の現役の方から、「**事例に学ぶ**」内容も用意しております。内容・ご予算など、お気軽にご相談ください!



● 講師派遣のメリット

- 問題、課題にマッチした講義や実習・実演を行えます
- 社員の経験やレベルなど、階層別に研修を実施できます
- 自社のスケジュールに合わせて開講が可能です
- 限られた予算で、多くの人数での受講が可能です
- 社員の出張費がかかりません (かかる交通費は講師分のみ) ... など

● 実施までの流れ



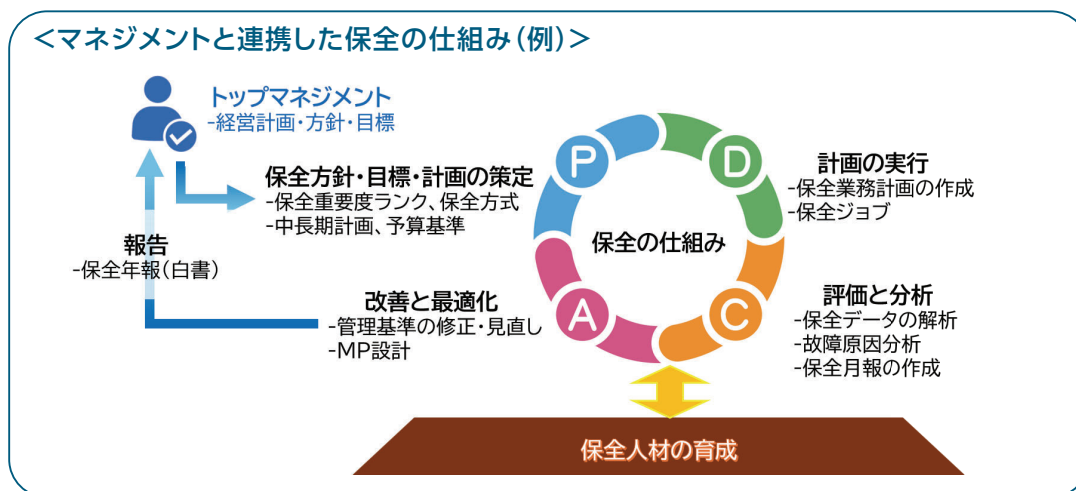
内容によっては、お打合せから教育実施まで3か月程度、必要となります。
ご予約の方はお早めにお声掛けください

■ 計画保全・MOSMS®の仕組みをつくる

■ 設備管理・保全の仕組みづくり

「経営に資する戦略的保全マネジメントシステム:MOSMS」は、経営と保全が連動した、工場や企業に最適な保全を実現する"仕組み"です。トラブルやロス・リスクを低減することで安定した設備稼働を実現し、保全活動を経営成果につなげます。

(MOSMS: Maintenance Optimum Strategic Management System)



■ MOSMSを知る・リーダーを育成する - 書籍・セミナー



書籍

「MOSMS実践ガイド」

MOSMSの考え方から実践方法までがわかる基本書。実際の実務に役立つ帳票や保全業務フロー図も豊富



セミナー

「計画保全士養成コース」

MOSMSベースの保全マネジメントリーダーの育成講座。修了試験に合格すると「計画保全士」として認定

■ 保全の現状を把握する - 「保全水準評価」

当会の専門チームが、MOSMSの観点から「保全マネジメント力」を客観的かつ総合的に評価します。強みと弱みを把握して課題を明確化、解決に向けた具体策を提案します。

＜「保全水準評価」実施の流れ＞



*教育・評価・提案までの期間は3～4か月です

*「保全水準評価」は、評価項目数、方法、範囲などに応じて数種類のメニューがあります

MOSMS・サービスの
詳細はこちらから

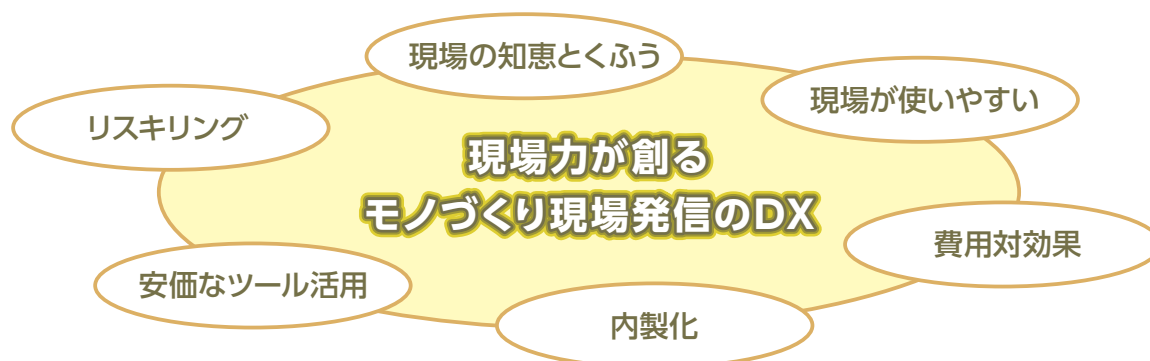


■ 現場発信のDX(デジタル化)に取り組む

モノづくり現場発信のDXとは？

近年、AIなどの進化によりデジタル化、いわゆるDXが急速に進展しています。しかし、市販ソフトウェアだけを導入しても、費用対効果のバランスがとれないことや、過剰な機能が備わっているケースがあります。

DXにおける重要な点は、製造現場を熟知した自分たちの手で、現場のデジタル化を進めることです。市販ソフトウェアだけに頼るばかりではなく、現場の知恵とくふうを取り入れ、実際の現場の困りごとを中心としたデジタル改善「現場発信のDX」が大切です。また、デジタルに強い若手と、現場を熟知したベテランとのコンビネーションが重要です。これが企業の力であり、差別化や競争力となります。



■ 現場発信DXの実践事例に学ぶ



モノづくり現場発信のDX大会

現場主体のDX事例を持ち寄る発表・交流会。他社の実践がヒントに。



モノづくり現場発信のDX工場見学会



先進企業の工場を見学し、現場での具体的な導入事例や社内展開のあり方を学ぶ



事例に学ぶDX実践講座

先進企業の具体的な取組みから、現場や保全活動でのDX導入の勘所を学ぶ

■ 現場発信DXのためのスキルアップ

デジタルスキル向上に関する各種実習講座

センサーやラズベリーパイなどの安価なツールを使いこなしたい。システム構築のスキルを身に付けたいなどの要望に応え、各種スキルアップセミナーも開催しています。



主なセミナー

- ・製造現場の"困った"を解決するDX実践入門講座
- ・ローコストIoT「現場の見える化」講座

からくり改善くふう展でも現場発信DXが見れる!!

手作りDXコーナーを毎年設置！
現場発信DXの最前線がここに！



■ 情報サイト・研究報告書から知る

設備管理・保全、モノづくりに関する情報

■ プラントエンジニアデジタル

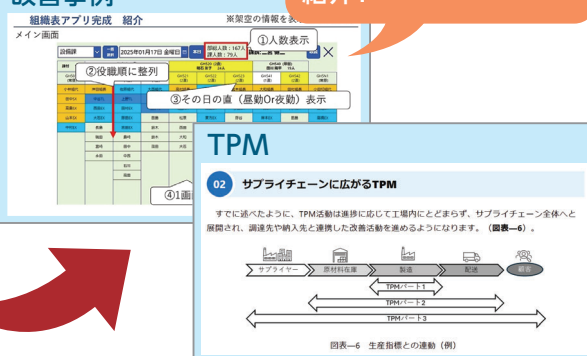
「プラントエンジニアデジタル」は、設備管理・保全、モノづくりに携わるエンジニア向けの情報サイトです。管理・技術レベルの向上や人材育成に役立つ情報、企業事例を、わかりやすく紹介しています。

※旧機関誌「プラントエンジニア誌」が2025年からウェブサイトになりました。

プラントエンジニアデジタル(<https://www.pe-digital.jp/>)



改善事例



自動車、化学、医薬など、さまざまな業種の事例を紹介！

ご利用には登録が必要です

日本プラントメンテナンス協会 会員：無料

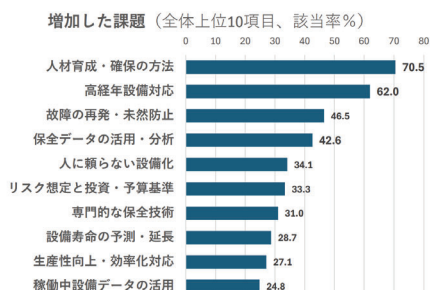
会員以外の方(一般の方)：1ID・年間13,200円(税込み)



■ 調査研究

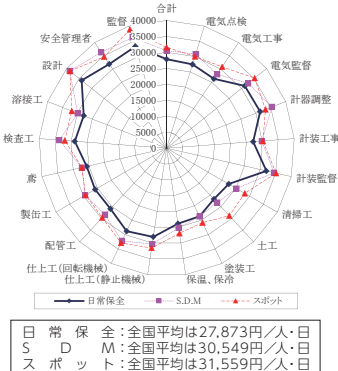
設備管理・保全、モノづくりに関する実態や課題の調査を行い、産業界に向け発信しています。保全計画の作成や合理的な予算組み、工事計画の参考にご活用いただいています。

メンテナンス実態調査



- 工場の保全費はいくらか？
- 力を入れている保全施策は？
- 人材育成の仕組みは十分か？
- DXの課題は？

外注技能工の単価調査



- 職種別の単価は？
- 発注形態による単価の違いは？

報告書(電子版)はウェブページで販売中！

※会員には一部無料配布



■ TPM賞を目指す・活動のプレゼンス向上

■ TPM賞とは？

TPM賞は、TPMによって成果をあげている国内外の事業場や、設備管理技術の発展に寄与する優秀な論文・商品等を審査・表彰しています。

とくに、TPMによって成果をあげている国内外の事業場を審査・表彰する「TPM優秀賞」は、その制定以来、4,000を超える事業場を表彰してきました。世界各国から毎年多くの事業場がチャレンジされており、提唱から50年以上を経た現在であっても、TPMがモノづくりを支え続けている証左とも言えます。

(TPM: Total Productive Maintenance)

■ TPM優秀賞 (Renewal)

一方、企業を取り巻く環境はダイナミックに動き、製造現場における活動にも変化があります。TPM優秀賞も事業場の実態にそった制度であり続けるため、大小のアップデートを繰り返してきました。最新の制度改訂では、以下のようなトピックが挙げられます。



- ▶ 活動を維持・継続するため賞体系を見直し、メインティンステージを新設
- ▶ 従来のTPM8本柱の考え方は維持しつつも、初期管理活動、管理間接部門の活動を除いた6本柱でのチャレンジも可能に
- ▶ 自分たちのTPM活動がどのレベルにあるのかを測り、審査以外にも活用できるセルフチェックリストを導入

■ TPM賞各賞

TPM優秀賞

TPM活動を導入し、優れた成果をあげている事業場を対象として、審査・表彰しています。活動レベルや受賞実績からカテゴリーが体系化されており、優秀賞・継続賞・特別賞・アドバンスト特別賞・ワールドクラス賞の5つがあります。

TPM優秀商品賞

メンテナンス機器やサービスに関する新技術の開発を奨励し、メンテナンス技術の進歩を促進することを目的として、アイデア・先行性・独創性に優れた開発賞と、効果が保証され実績に優れる実効賞が設けられています。

TPM優秀論文賞

設備管理に関するシステムや固有技術の研究または改善実績などの論文で、独創性、効果、汎用性に優れ、設備管理技術の向上に寄与するTPM優秀論文を審査・表彰しています。テクノロジー部門、プロダクション部門、マネジメント部門の3部門があります。

TPM優秀エンジニアリング賞

メンテナンスサービスの効率化を図り、製造プラントの信頼性と生産向上に貢献しメンテナンスサービス業界の発展に寄与した企業を審査・表彰します。

TPM賞個人賞

TPM・設備管理の普及ならびに研究・発展に貢献した個人を表彰する制度です。経営者層を対象とする中嶋・鈴木賞と、管理・監督者、技術者・技能者を対象とする貢献賞があります。



■ 海外工場の人材育成を促進する

海外拠点の人財育成に！－Monodzukuri Test

～5か国語対応のテキスト：日本語・英語・スペイン語・中国語・タイ語～



海外生産拠点において、日本と同様のモノづくり知識を身につけられるよう開発したのが、Monodzukuri Testです。日本国内で毎年14,000名を超える受験実績を誇る自主保全士のテキストをベースに、海外で利用できるようアレンジを加えています。

テストは英語・タイ語のみの提供となりますが、学習テキストは日本語、英語、スペイン語、中国語、タイ語を用意しています。構成は同一のため、同じ内容を複数の拠点で学ぶことが可能です。

テストはオンラインで実施可能であり、科目ごとに正答率を提供するため、拠点ごとに理解度を数値的に把握することができます。



海外拠点の TPM推進者へ－TPMスペシャリスト認定制度

TPMスペシャリスト認定制度は、当会がTPMを正しく普及・推進するため、TPM知識を持った個人を認定する制度です。TPMコンサルタント、企業内推進者、あるいは通訳者を対象に、所属する団体を問わず、要件を満たした個人を認定します。

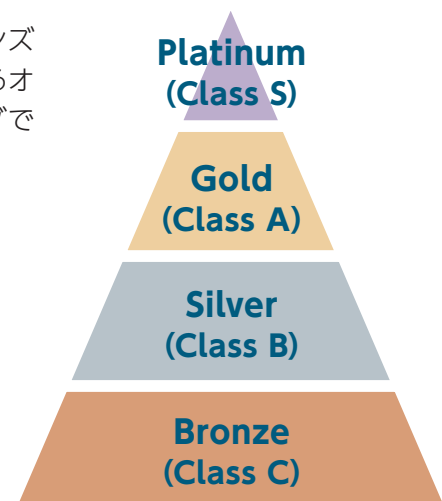
TPMは、製造業においてグローバルに広く認知され、活動に取り組む企業も増加している一方で、誤った知識に基づくTPM活動が展開されている事例も散見されます。この原因は、TPMを教える立場の人物が正しい知識を持たないまま指導していること、また指導を受ける企業側も誤りに気づくことなく活動を進めていることにあると考えました。

TPMのオリジネーターである当会が、正しい知識を持った人材を認定することにより、誤ったTPMの普及を防ぐとともに、企業におけるTPM活動の更なる推進・活性化を図ります。

■ 学習から認定の流れ

TPMスペシャリスト認定制度(社内推進者を対象とするブロンズクラス)は、年2回開講し、15時間程度のカリキュラムからなるオンデマンド講座(英語、日本語)を、期間中お好きなタイミングで受講いただけます。

その後、Web環境での認定テストを受けていただき、基準点をクリアすれば合格となり、認定カードが贈られます。



■ 研究する・企業間交流する

「保全員が足りないなか、どのように業務を進めれば良いか？」

「設備の老朽化対策を考えたい」

「DXを進めたいが何から手をつけるかわからない」

— その悩み、実は他社も同じです。

当会では、全国規模から、地域特性を生かした規模まで、製造・保全に関する研究会・情報交換会を各地で開催しています。

- ・設備保全と保全人財の育成
- ・DX・デジタル化への対応
- ・自主保全と専門保全の連携・技術伝承

同じ課題に挑む他社の担当者と、生の事例や失敗談まで持ち寄って議論する。**先進企業の工場を実際に見に行ける**のも、研究会ならではの場です。だからこそ、**自社だけでは見つからなかった解決の糸口**が、きっと見つかります！
会員企業は登録無料。まずは一度、参加してみませんか？



東北地域保全研鑽会（開催場所：トヨタ自動車東日本）

日本全国

モノづくり課題に対応したWeb研究会

Zoom (web) での開催を前提とした開催方式

活動実績（テーマ）：

- 保全マンのモチベーション向上と定着
- デジタル環境下における保全人材育成
- 海外工場を含む最適な保全体制

北陸エリア

きとくと保全研究会

活動実績（テーマ）：

- 自主保全強化策の検討
- 専門保全/自主保全の教育事例
- 予備品管理の最適化・保全のIoT活用

きとくとからくり改善機構 研究会

活動実績（テーマ）：

- からくり改善の機構やアイデアの発想方法の研究

関西エリア

保全研究会

活動実績（テーマ）：

- 設備の故障対策/老朽化対策
- 予防保全/予知保全・設備診断技術
- 人材育成・保全業務のDX化に向けた取り組み

中部エリア

TPMマネジメント研究会

活動実績（テーマ）：

- 人材育成マネジメントが支える製造業の持続可能性
- 「2030年の保全像」～保全DXとして進むべき道～

設備保全研究会

活動実績（テーマ）：

- ペルチェ素子による熱発電と省エネ活動（機械チーム）
- スマート点検プロジェクトDX（電気チーム）

からくり改善機構研究会

活動実績（テーマ）：

- 人にやさしい作業環境づくり
- 台車連結 使いやすさ向上
- 改善のイメージがで、製作できる人材の育成

電気保全研究会

活動実績（テーマ）：

- 活動内容を自社に持ち帰りしよう!!
- 各社およびメーカーの保全・診断技術について

中国・四国・西日本エリア

保全研究会

活動実績（テーマ）：

- 予備品管理、保全費/予算の最適化
- 保全業務のDX化、設備管理のスマート化
- 設備の劣化更新/延命、保全員の育成

設備診断技術研究会

活動実績（テーマ）：

- 第1分科会（回転機器診断）：振動診断技術
- 第2分科会（非破壊診断）：ドローン活用
- 第3分科会（電気設備）：高圧配電盤の余寿命診断

各研究会・情報交換会の詳細は、

<https://info-jipm.jp/f/study/>



■ 会員になる

当会の活動は、さまざまな業種の会員企業・団体からのご支援・ご協力に支えられています。
 当会活動を支える会員のみなさまには、生産・設備管理・保全に役立つ情報をタイムリーにお届けするとともに、本誌でご紹介したコンテンツをより多く・より有効的に活用いただけるよう、以下の会員サービスを提供しています。

■ 会員サービス

P.1 発表する・発表を聞く

- 参加料 **割引**
- 発表会(一部) **ご招待**

P.2 資格を取得する

- 自主保全士通信教育受講料 **割引**

P.4 からくり改善を見る・学ぶ

- からくり改善くふう展、セミナー等
参加料 **割引**

P.6 セミナーを受講する

- 受講料 **割引**

P.7 計画保全・MOSMSの仕組みをつくる

- 書籍・セミナー **割引**

P.8 現場発信のDX (デジタル化) に取り組む

- 関連発表会、セミナー等参加料 **割引**

P.9 情報サイトや研究報告書から知る

- プラントエンジニアデジタル
全コンテンツ閲覧可
- 報告書(一部) **無料配布**

P.10 TPM賞を目指す・活動のプレゼンス向上

- 審査登録費用 **免除**
- 関連セミナー・ツール **割引**

P.11 海外工場の人材育成を促進する

- Monodzukuri Test学習テキスト **割引**

P.12 研究する・企業間交流する

- 登録・参加料 **無料**

■ 入会方法

「正会員(法人単位)」または「事業所会員(事業所単位)」で、入会*いただけます。

入会には、年会費・会費が必要です。

会員制度・入会手続きの詳細は、当会ホームページ

(<https://www.jipm.or.jp/company/member/>)をご確認ください。

*個人入会もあり



メンテナンス新時代



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance